

事務事業名		幹線道路改良事業			会計	一般会計				
課等名		土木課			事業種別	政策	開始	終了		
係等名		道路係								
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり							
	施策	44	交通機関と道路の充実							
目的	対象(誰・何を)	幹線市道(1・2級市道)			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	通過車両が便利で安全に移動ができる。				幹線市道延長:m			305061	
	向上させたい上位施策の成果指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路):%								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	施工延長:m			1052	531	665			
	定性目標									
事業概要	<p>市内外の各地を結ぶ国県道やそれらを補完する幹線市道(集落間の相互連絡の主たる道路)は、交通量の増加や自動車の大型化などにより、改修や拡幅等が必要になってきています。産業・経済・観光・文化の振興に寄与するため、幹線市道について、計画的な整備・改修等を実施し、安全で効率的な道路網の構築をする。</p> <p>・幹線市道(1級及び2級市道)を幅員5m以上に拡幅改良</p>									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 市道1-39号母子ヶ谷線 他36路線(工事・用補・委託)				1 事業実施路線数			1 37路線数		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		91,042	89,162	83,111	71,096	(国)地域経済活性化・雇用創出臨時交付金 70,000千円(10/10) (そ)繰越金 24→25繰越明許費6,048千円				
国庫支出金					70,000					
県支出金										
起債										
その他		36,720								
一般財源		54,322	89,162	83,111	1,096					
人件費計(千円)②		6,508		6,508						
正規職員所要時間		1,820		1,820						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		97,550	89,162	89,619	71,096					
事業内容・目標達成状況の振り返り	地元調整を図りながら事業を進める中で用地補償、測量試験を中心に行ったため、工事の実績延長は延びなかった。									
改革改善の考え方	①問題点	今後、新規改良路線の改良は困難である。								
	②改革提案	継続改良路線を集中して工事することにより、早期に効果が上げるよう努める。								